

ダクト接続形(排気フード対応)

# 潜熱回収型ガス給湯器

(商業用 / 業務用専用)

特定保守製品

PH-E1600HE

PH-E2400HE



## 取扱説明書 保証書付

このたびはガス給湯器〔ダクト接続形(排気フード対応)〕をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この製品は「消費生活用製品安全法」で指定された特定保守製品です。(→ P.19)

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型番・製造年月をお知らせください。

# Paloma

### もくじ

### ページ

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 安全に正しくお使いいただくために      | 1   |
| この取扱説明書の表示について        | 1   |
| 機器本体の表示について           | 1   |
| 必ずお守りください             | 1   |
| 各部の名称とはたらき            | 6   |
| 機器本体                  | 6   |
| 本体操作部                 | 7   |
| 風呂リモコン                | 7   |
| ご利用前の準備               | 8   |
| 機器の準備                 | 8   |
| お湯を使うには               | 9   |
| お湯を使用する               | 9   |
| 給湯温度の目安               | 10  |
| リモコンを優先にする            | 11  |
| 風呂リモコンを優先にする          | 11  |
| 本体操作部のその他の機能          | 12  |
| キッチンタイマーを使用する         | 12  |
| ロック機能                 | 13  |
| ロック機能の設定と解除           | 13  |
| 簡単2台連結をご利用の場合         | 14  |
| リモコンの操作について           | 14  |
| 簡単2台連結のアラーム表示について     | 14  |
| 冬の凍結予防をするには           | 15  |
| 凍結予防装置による方法           | 15  |
| 給湯栓の水を流す方法            | 15  |
| 機器の水を抜く方法             | 16  |
| 再使用するとき               | 17  |
| 凍結してしまったとき            | 18  |
| 長期使用製品安全点検制度に関するお願い   | 19  |
| 点検のポイント・お手入れのしかた      | 21  |
| 点検のポイント(月1回程度)        | 21  |
| 定期点検のおすすめ(有料)         | 21  |
| お手入れのしかた              | 21  |
| 給気フィルターの掃除(こまめに掃除)    | 22  |
| 排気トップ部・油受け皿の掃除(月1回程度) | 23  |
| 給水口フィルターの掃除           | 23  |
| 点検・お手入れ後の確認           | 23  |
| 配管カバーのフロントカバーについて     | 24  |
| 故障かな?と思ったら            | 25  |
| こんなときは故障ではありません       | 26  |
| アラーム表示について            | 27  |
| 仕様一覧                  | 28  |
| アフターサービスについて          | 29  |
| 保証書                   | 裏表紙 |

お使いいただく前に

使い方

長くお使いいただくために

# 安全に正しくお使いいただくために

## ■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

### ⚠危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

### ⚠警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

### ⚠注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX)

参照ページを示しています。

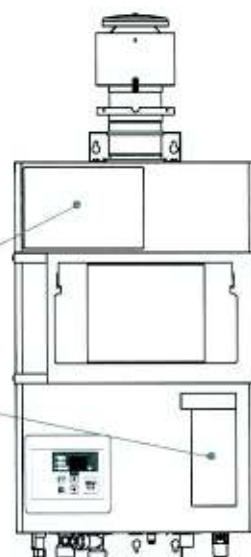
## ■機器本体の表示について

### 使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

### 銘板 特定保守製品

器具名・型番・使用ガスの種類・製造年月・製造業者等を表示しています。



## 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

### ⚠危険

ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめてガス栓を閉じる。  
また、メーターのガス栓も閉じる。
- ②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
- ③最寄りのガス事業者(供給業者)に連絡する。



全ての処置が終わるまでの間、絶対に

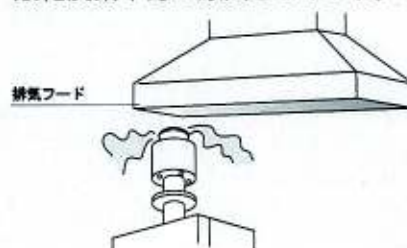
- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話を使用しない



炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

排気フード内への設置に関する注意

- 機器排気トップ部が排気フード内に完全に納まっていなかったり、外れていることに気づいたときはすぐに使用をやめ、お買い上げの販売店かお近くのパロマへ連絡する。そのまま使用すると、排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因となります。



# 必ずお守りください

## △危険

### 本体の給気フィルターの詰まり

- 本体の給気フィルターにゴミなどが詰まっているか確認する。詰まっていると不完全燃焼の原因になります。



### 排気トップ部および排気筒の定期点検

- 排気トップ部の変形・破損・詰まりなどがなければ定期点検をする。異常なまま使用すると排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。



### 換気注意

- 換気口・給気口は常に確保し、物などでふさがない。不完全燃焼の原因となります。
- 使用中は、お部屋の換気口(給気口・排気口・小窓など)は常に開けて、物などでふさがない。一酸化炭素中毒の原因となります。



### 排気ファン停止中は使用しない

- メインダクトの排気ファンが運転していることを確認してから使用する。排気が室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因になります。



お使いいただく前に

## △警告

### 屋外設置の禁止

- この機器は屋内式ですので、屋外に設置しない。雨水の浸入などで、故障の原因になります。
- この機器は排気フード対応形ですので、機器の排気トップ部が排気フード内に挿入されていることを確認する。排気フード内に挿入されていないと、排気が室内にあふれ大変危険です。



### 改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は事故や故障・火災の原因となります。



### アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



### 機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店かお近くのパロマに依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



### 機器・給気フィルターの付近

- やむを得ず、油煙等を発生させる燃焼機器と隣接して設置する場合は、間に仕切り板(不燃材)等、有効な油煙流入防止措置をする。



### ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しの際には、必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマへご相談ください。



### 機器本体やガスの接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

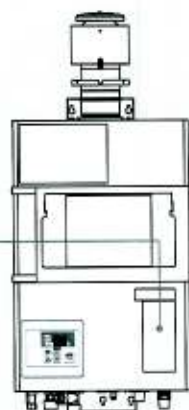


### 機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用する。ガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火でやけどしたり機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は(→P.29)



器具名:PH-E1600HE  
ガス種:都市ガス12A・13Aの場合  
この部分を必ずご確認ください。

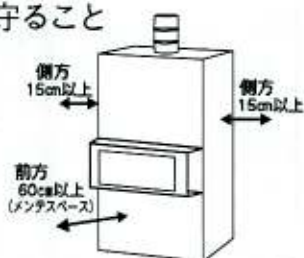


# 必ずお守りください

## 警告

火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保してください。



- 機器及び排気トップ部の周囲には、紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周囲や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたり使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり、爆発のおそれがあります。
- 機器の周囲に、コンロなど他の燃焼機器がある場合は、火災の原因となりますので、間に仕切り板(不燃材)を設けるなど防火措置を行う。



異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。
  - ①給湯栓を閉じる。
  - ②運転スイッチを「切」にする。
  - ③ガス栓・給水元栓を閉じる。



- 給湯栓を開けても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。

- ①ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②「故障かな?と思ったら」(→P.25~27)に従って処置をする。

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店かお近くのバロマへ連絡する。



給湯・シャワー使用時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。

- ・お湯を再使用するとき
- ・給水圧が下がったとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・機器が故障したとき



必ず行う

- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
- シャワー・給湯使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、運転スイッチを「切」にしない。思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。



電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り

- ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。



感電注意



ぬれ手禁止

## 注意

用途についての注意

- 給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



水漏れに気づいたときは

- 速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客様の責任となります。



# 必ずお守りください

## ⚠️ 注意

機器本体の高温部に触らない

- 使用中または使用後しばらくは、排気口付近を触らない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

子供に対する注意

- 子供を機器の周囲や直下で遊ばせない。思わぬ事故の原因になります。



禁止

ソーラーシステムと接続する場合

- ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度より高くなる場合がありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用する。



必ず行う

ドレン排水口から排出される水について

- ドレン排水口から排出される水を飲料用・飼育用などに使用しない。



禁止

電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。



必ず行う

配管カバーについての注意

- 配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーをしっかりと固定する。(→P.24)



必ず行う

## お願い

市販の補助用具の使用禁止

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- この機器専用の排気トップ部(付属品)を使用してください。それ以外のトップは使用しないでください。

本体操作部やリモコンの扱いについて

- 風呂リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。本体操作部には水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- 本体操作部やリモコンは、いたずらに使用しないでください。

通水使用の禁止

- 運転スイッチを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くします。(冬期の凍結予防を除く)

断水のとき

- 断水のときは、給湯栓を閉じ、本体操作部の運転スイッチを「切」にしてください。

飲用や調理にお使いのときは

- 機器や配管内に長時間たまっていた水(例えば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲用や調理には使用せずに雑用水としてお使いください。

長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」(→P.16)に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

電源プラグを抜かない

- お手入れや長期間使用しない場合、および水抜きを行うときや雷が発生しているとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電スイッチが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」(→P.15)に従って処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結したときは■凍結してしまったとき(→P.18)に従って処置をして下さい。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。
- 停電または電源プラグをコンセントから抜いた状態が30分以上続いた場合は、本体操作部の現在時刻設定を行い、表示を確認してからご使用ください。

# 必ずお守りください

## お願い

### ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを、本体操作部の燃焼ランプで確認してください。

### 運転停止(消火)時の注意

- 燃焼中ガス栓を操作しての消火はしない。また、燃焼中に電源プラグをコンセントから抜いて消火しない。

### 特監法対象機器

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。

シールが貼付していない場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

| 特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示 |       |
|-----------------------------------|-------|
| 工事事業者の氏名<br>又は名称及び連絡先             | TEL   |
| 監督者の氏名                            |       |
| 資格証の番号                            |       |
| 施工内容及び<br>施工年月日                   | 年 月 日 |

### スプレー使用注意

- お湯を使用中に機器近くでシリコン系スプレーを使わないでください。故障の原因になります。

### 日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検、お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P.21～24)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。
- 洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により、青く着色することがあります。日々、洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。
- ドレン排出配管の先からスムーズに排水されているか点検してください。ゴミや油等によって閉塞されている場合は、掃除を行ってください。また、この機器は熱効率が高いため、排水量が多くなっています。

## お願い 設置する場所や状況について

### 設置場所について

- 壁などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと、燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

### 給気について

- 給気フィルター部や排気トップ部は、物などでふさがないでください。機器は給気が十分できる場所に設置してください。給気が不十分な場所に設置すると、不完全燃焼の原因となり危険です。

### 機器の設置の確認

- この機器は高効率型給湯器のため、燃焼中に強酸性のドレン水が発生します。ドレン水は機器内の中和器で中和され、ドレン排水口より排水されます。ドレン排水口から排水配管がされているか確認してください。

### 塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に、熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

### 地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用されると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させるなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用する場合は施工前に十分水質<sup>※</sup>を確認してください。ただし、地下水・井戸水(簡易水道を含む)には様々な成分が溶け込んでいるため機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理となります。

※飲料水適合していることを原則として、硬度60mg/ℓ以下・pH7～8・遊離炭酸4mg/ℓ以下が望ましい。

- 温泉水は使用しないでください。

### 油煙・ほこり

- 油煙やほこりなどのたちやすい場所に機器を設置した場合は、油煙などが給気口をふさいだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となりますので、仕切り板等の措置をし、給気フィルターのお手入れをこまめに行ってください。

# 各部の名称とはたらき

## ■機器本体

お使いいただく前に

### 排気トップ部

油煙やほこりが付きますので、月1回程度を目安に掃除をしてください。  
排気トップ部の掃除(→P.23)

### 油受け皿

油やほこりがたまりますので、月1回程度を目安に掃除をしてください。  
油受け皿の掃除(→P.23)

### 給気カバー

油煙や排ガス・湯気などが、直接機器に入らないように保護します。

### 給気フィルター

油煙やほこりが付くので、こまめに掃除をしてください。  
給気フィルターの掃除(→P.22)

### 水抜き栓(給水口フィルター)

詰まるとお湯の出が悪くなるので、月1回程度を目安に掃除をしてください。  
給水口フィルターの掃除(→P.23)

排気筒

本体操作部

ドレン排水口

ガス栓

給水元栓

## 各部の名称とはたらき

### ■本体操作部

給湯温度の調節やキッチンタイマーなどの操作ができます。

**優先ランプ[緑]**(→P.11)

**燃焼ランプ[赤]**(→P.9)

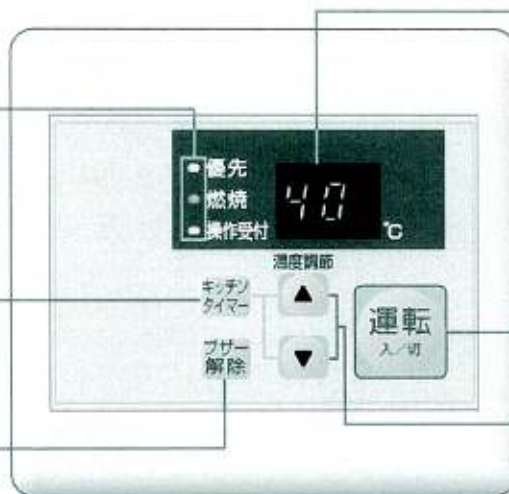
**操作受付ランプ[緑]**(→P.14)

**キッチンタイマースイッチ**(→P.12)

1分 60分までの範囲で、キッチンタイマーを利用できます。

**ブザー解除スイッチ**(→P.27)

アラーム発生時のブザーを止めるときに押します。



**給湯温度表示**(→P.9)

運転スイッチ「入」のとき、給湯温度を表示します。

**アラーム表示**(→P.27)

機器に不具合が生じたとき、3桁でアラームを表示します。

**キッチンタイマー表示**(→P.12)

キッチンタイマー使用時にカウントを表示します。

**運転スイッチ**

操作するとき最初に「入」にします。

**温度調節スイッチ**

給湯温度の調節に使用します。(→P.9)  
また、キッチンタイマーの時間の設定をするときに使用します。(→P.12)

### ■風呂リモコン FC-500(別売品)

給湯温度の調節や優先の切り替えができます。防湿タイプなので、水回りなどに設置することができます。

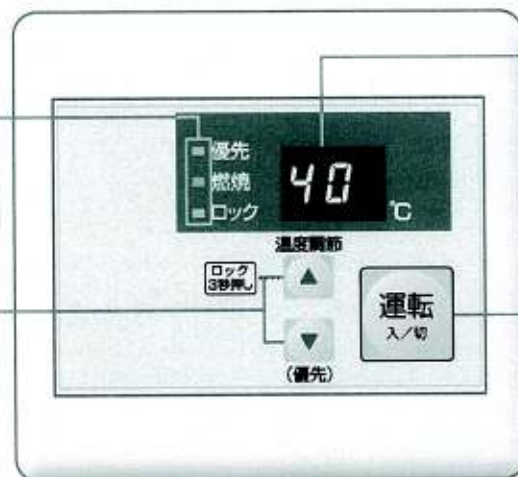
**優先ランプ[緑]**(→P.11)

**燃焼ランプ[赤]**(→P.9)

**ロックランプ[緑]**(→P.13)

**温度調節スイッチ**

給湯温度を調節するときに押します。  
▼を押すと優先の切り替えができます。  
▲を長押しすると、ロック機能の設定・解除が行えます。



**給湯温度表示**(→P.9)

運転スイッチ「入」のとき、給湯温度を表示します。

**アラーム表示**(→P.27)

機器に不具合が生じたとき、2桁でアラームを表示します。

**運転スイッチ**

操作するとき最初に押して「入」にします。

# ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。

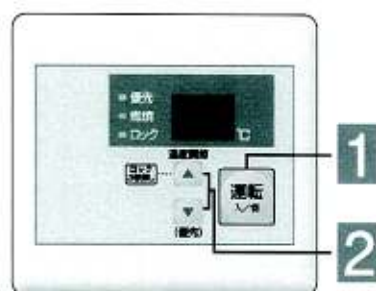
## ■機器の準備

|   | 操 作                                                                                                     | 説 明                    |
|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 1 | 機器や機器周辺の点検・確認を行う                                                                                        | 点検のポイント(→P.21)をご覧ください。 |
| 2 | 給水元栓を全開にする<br>         | 機器の下部にあります。(→P.6)      |
| 3 | 給湯栓を開ける<br>            | 水が出ることを確認したら閉じます。      |
| 4 | ガス栓を全開にする<br>        | 機器の下部にあります。(→P.6)      |
| 5 | 電源プラグをコンセントに差し込む<br> | 機器の周辺にあります。            |

お使いいただく前に

使い方

# お湯を使うには



**警告** ●お湯を使う前には必ず、メインダクトの排気ファンが運転していること・給湯温度を確かめてから使用する。

## ■お湯を使用する

運転スイッチを「入」にして、給湯栓を開けるだけの簡単操作でお湯が使えます。

| 操 作                                            | 操作後の画面        | 説 明                                                       |
|------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------|
| <b>1</b><br><br>給湯温度を確認する                      |               | 給湯温度を表示します。<br>操作受付ランプが点灯します。                             |
| <b>2</b><br>給湯温度を変更する場合は、優先ランプの点灯を確認して▲または▼を押す | <br>【例】42℃に設定 | 温度変更ができない場合は優先ランプの点灯を確認します。<br>(→P.11)<br>給湯温度の目安は(→P.10) |
| <b>お湯を出す</b><br>給湯栓を開ける<br>                    |               | リモコンの燃焼ランプが点灯します。                                         |
| <b>お湯を止める</b><br>給湯栓を閉じる<br>                   |               | 燃焼ランプが消灯します。<br>※他の給湯栓が使用中のときは消えません。                      |

**警告** ●お湯を使うときは給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。  
 ●メインダクトの排気ファンが停止しているときは使用しないでください。排気が室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因になります。

# お湯を使うには

## ! ご注意ください

- 給湯栓を閉じていても機器の燃焼ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。
- 使い始めは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります)
- 給湯栓をしばらく過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。



## ■給湯温度の目安

給湯温度は、標準設定または高温設定のどちらかに設定できます。  
設定は、設置工事時に行いますので、給湯温度設定の内容は施工業者に確認してください。

ご使用の目安

工場出荷時標準 **40**，高温 **60** (単位:℃)

|      |        |    |    |    |           |    |    |    |      |    |    |    |     |    |    |    |    |
|------|--------|----|----|----|-----------|----|----|----|------|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| 標準設定 | 32     | 35 | 37 | 38 | 39        | 40 | 41 | 42 | 43   | 45 | 47 | 50 | 55  | 60 | 70 | 75 |    |
| 高温設定 | 低温     |    |    |    |           |    |    |    |      |    |    |    | 60  | 65 | 70 | 75 | 80 |
| 使用用途 | 食器洗いなど |    |    |    | シャワー・給湯など |    |    |    | 給湯など |    |    |    | 高 温 |    |    |    |    |

## ! ご注意ください

- 夏期など水温が高い場合、低温設定にしても設定温度より高い湯温となることがあります。
- 給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されています。また、一度通電が止まって再通電した場合でも、給湯温度は記憶されています。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。



# お湯を使うには

## □給湯温度が変更できないときは

■お湯を使用する(→P.9)の2の操作で給湯温度の変更ができない場合は、リモコンの優先ランプが点灯しているか確認してください。点灯していない場合は■リモコンを優先にする(→P.11)または■風呂リモコンを優先にする(→P.11)をご覧ください。

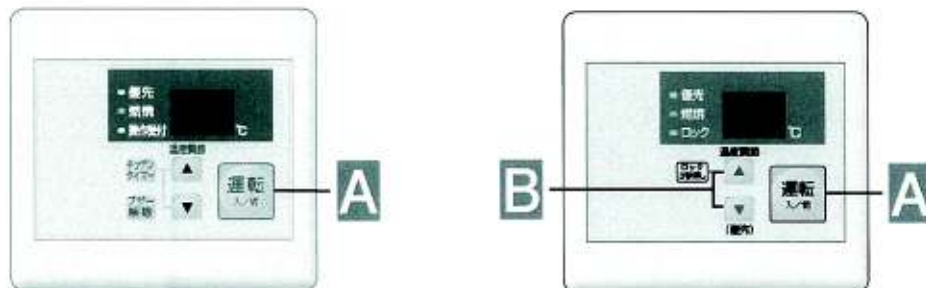
### 優先とは

給湯温度の調節ができることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには、優先ランプが点灯しています。

1つの機器から供給されている給湯栓からは、常に同じ温度のお湯が出ます。

そのため、お湯を使用中に使用者以外が給湯温度を変更すると、出ているお湯の温度が変わり、使用者がやけどをしたり、思わぬ事故の原因になります。

このような事故などを防ぐために、優先ランプが点灯しているリモコン以外では、給湯温度が変えられないようになっています。優先ランプは、運転スイッチを「入」にしたリモコンに点灯します。



## ■リモコンを優先にする

優先は運転スイッチを「入」にしたリモコンに点灯します。

| 操 作                                                           | 操作後の画面 | 説 明                                                  |
|---------------------------------------------------------------|--------|------------------------------------------------------|
| <b>A</b> <p>【優先ランプが点灯していない場合】<br/>運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする</p> |        | <p>運転スイッチを「入」にしたリモコンで記憶していた給湯温度を表示し、優先ランプが点灯します。</p> |

## ■風呂リモコンを優先にする

風呂リモコンでは、給湯温度スイッチを押して、優先にすることもできます。

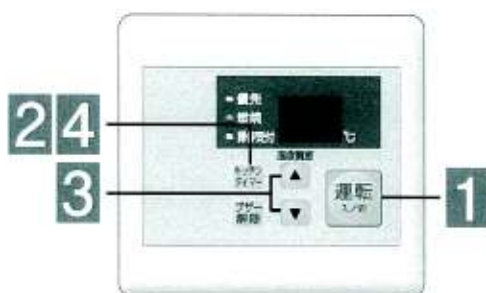
| 操 作                                         | 操作後の画面 | 説 明                                       |
|---------------------------------------------|--------|-------------------------------------------|
| <b>B</b> <p>【風呂リモコンで行う】<br/>給湯温度スイッチを押す</p> |        | <p>風呂リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、優先ランプが点灯します。</p> |

**警告** ●給湯・シャワーの使用中に優先を切り替えない。お湯の温度が急変して、やけどのおそれがあります。

**ご注意ください**

●優先を切り替えるときには、他の場所でお湯が使われていないことを確認してから切り替えてください。

## 本体操作部のその他の機能

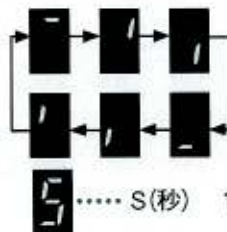


### ■キッチンタイマーを使用する 1分～60分までのタイマーを利用できます。

| 操 作                  | 操作後の画面 | 説 明                                 |
|----------------------|--------|-------------------------------------|
| 1  を「入」にする           |        | 給湯温度を表示します。<br>操作受付ランプが点灯します。       |
| 2  を押す               |        |                                     |
| 3  または  でタイマー時間を合わせる |        | キッチンタイマーは1分単位で最大60分まで設定できます。        |
| 4  を押す               |        | カウントダウンを始めます。<br>終了するとチャイムでお知らせします。 |

#### 【タイマー表示について】

1分以上は分を表示します。  
1分未満は秒を表示します。  
※給湯使用中は給湯温度を表示します。



1秒周期で点滅し、10秒間隔で点滅場所が移動します。  
※給湯使用中も継続して表示します。  
1分以上のカウントダウン中と1分未満の給湯使用時に表示します。  
5 ..... S(秒) 1分未満の給湯未使用時に表示します。

### キッチンタイマーを中止するには

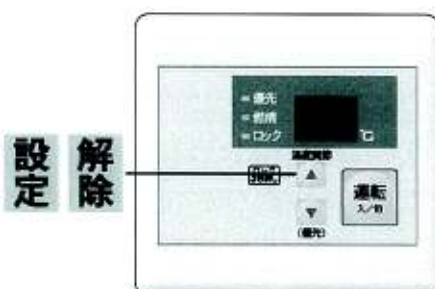
|     |  |                                           |
|-----|--|-------------------------------------------|
| を押す |  | カウントダウンを停止し、前回のタイマー設定値にリセット後、給湯温度表示に戻ります。 |
|-----|--|-------------------------------------------|



- タイマー時間を合わせた後、 を押さずに10秒経過すると、点滅が点灯に変わり、カウントダウンを始めます。
- タイマーカウント中に給湯を使用すると、給湯温度を表示します。

# ロック機能

リモコンの誤操作防止のために、ロック機能があります。



## ■ロック機能の設定と解除

ロック機能の設定 / 解除は **設定** / **解除** で行えます。  
操作の方法は**運転**スイッチ「切」の状態の説明します。

| 操 作                                     | 操作後の画面 | 説 明                                                 |
|-----------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------|
| <b>設定</b><br>▲ を“ピピッ”と鳴るまで<br>3秒以上押し続ける |        | ロックランプが点灯します。<br>※ロック中はロック機能の解除以外のリ<br>モコン操作はできません。 |
| <b>解除</b><br>▲ を“ポポッ”と鳴るまで<br>3秒以上押し続ける |        | ロックランプが消灯します。                                       |



●ロック機能の設定 / 解除は、**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく設定ができます。

## 簡単2台連結をご利用の場合

### ■リモコンの操作について

簡単2台連結でご利用の場合、2台あるうちの1台の本体操作部のリモコン機能が一部の操作を除き、使用できなくなります。



#### 【操作ができるリモコン】…親機

操作受付ランプが点灯しています。  
通常のリモコン操作(運転「入/切」・給湯温度調節・ブザー解除・キッチンタイマー)が可能です。



#### 【操作ができないリモコン】…子機

操作受付ランプが消灯しています。また、給湯温度も表示しません。  
キッチンタイマーの操作はできますが、それ以外のリモコン操作はできません。

このリモコンでは運転スイッチ、給湯温度調節、ブザー解除の操作はできません  
がリモコンまたはその付近に貼ってあります。



●操作ができるリモコンで給湯温度の変更ができないときは、優先ランプの点灯を確認してください。  
(→P.11)

### ■簡単2台連結のアラーム表示について

簡単2台連結でご利用の場合、子機の本体操作部にはアラーム番号を表示しません。アラーム番号は親機の本体操作部に表示されます。



不具合の起きた機器を示します。

1…親機

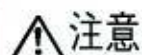
2…子機



アラーム番号を表示します。

# 冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。



**注意**

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

## ■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき(外気温-15℃程度まで)

機器の電源プラグは、抜かないでください

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。  
電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを「切」にすると、凍結予防装置がはたらきません。



- ・凍結予防装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ・給水・給湯配管は凍結する場合があります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど、地域に応じて処置をしてください。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

## ■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

| 操 作                                                                                                              | 説 明                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| <b>1</b>  を押して<br>リモコンを「切」にする | 必ず行います。                                      |
| <b>2</b> ガス栓を閉じる                                                                                                 |                                              |
| <b>3</b> 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続ける                                                                           | 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度、流量を確認してください。 |



- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、運転スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.4)
- シングルレバー混合栓やサーモスタット混合栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

# 冬期の凍結予防をするには

## ■機器の水を抜く方法

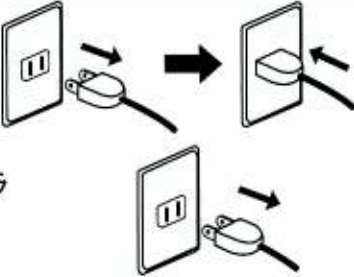
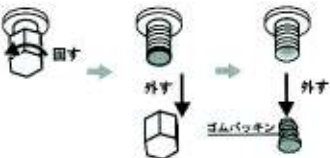
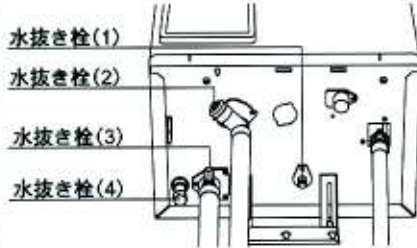
寒波などで特に寒くなりそうなきや入居前・長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。



**注意**

●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。

機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

| 操 作                                                                                                                                                                                                            | 説 明                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 ガス栓を閉じる</p>                                                                                                              | <p>機器の下部にあります。</p>                                                                    |
| <p>2 電源プラグの抜き差しをする</p>  <p>15秒程待ち、再び電源プラグを抜く</p>                                                                             |                                                                                       |
| <p>3 給水元栓を閉じる</p>  <p>すべての給湯栓を全開にする</p>  |                                                                                       |
| <p>4 水抜き栓(1) (2) (3) (4) を外す</p> <p>水抜き栓(4)の外しかた</p> <p>水抜き栓(4)は中のゴムパッキンを外して、水抜き栓にはめ込みます</p>                                |  |
| <p>5 完全に排水したことを確認後、すべての水抜き栓を元どおりに取り付ける</p>                                                                                                                                                                     |                                                                                       |

**お願い**

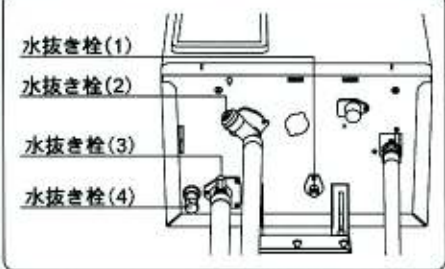
●水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

長くお使いいただくために

# 冬期の凍結予防をするには

## ■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

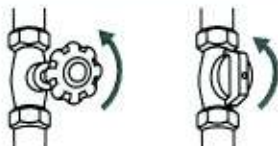
|   | 操 作                                                                                                                                                                                                                                      | 説 明                                                                                                                                    |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | <p>水抜き栓(1)～(4)およびすべての給湯栓が閉じていることを確認する</p>                                                                                                               |  <p>水抜き栓(1)<br/>水抜き栓(2)<br/>水抜き栓(3)<br/>水抜き栓(4)</p> |
| 2 | <p>給水元栓を開け、機器や配管より水漏れがないか確認する</p>  <p>また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認する</p>  | <p>給水元栓は機器の下部にあります。</p> <p>水が出ることを確認したら、給湯栓を閉じます。</p>                                                                                  |
| 3 | <p>電源プラグを差し込む</p>                                                                                                                                     | <p>コンセントは機器の周辺にあります。</p>                                                                                                               |
| 4 | <p>ガス栓を開ける</p>                                                                                                                                        | <p>ガス栓は機器の下部にあります。</p>                                                                                                                 |

**お願い** ●再使用するときは、水抜き栓を元のとおりに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

# 冬期の凍結予防をするには

## ■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

|   | 操 作                                                                                                                           | 説 明                                       |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 1 | ガス栓を閉じる<br>                                  | 機器の下部にあります。                               |
| 2 | 給水元栓を閉じる<br>                                 | 機器の下部にあります。<br>※配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。 |
| 3 | 運転<br>を押して<br>リモコンを「切」にする<br>               |                                           |
| 4 | とときどき給水元栓を開けて、<br>給湯栓から水が出ることを<br>確認する<br> | 給水元栓は、機器の下部にあります。<br>水が出てくれば使用できます。       |
| 5 | 給水元栓を全開にし、ガス栓<br>を開ける<br>                  | 機器の下部にあります。                               |
| 6 | 運転<br>を押して<br>リモコンを「入」にする<br>              |                                           |

お願い

●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

長くお使いいただくために

# 長期使用製品安全点検制度に関するお願い

## ■特定保守製品について

この製品は消費生活用製品安全法(消安法)で指定された特定保守製品です。

- 特定保守製品とは「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命または身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等から見てその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

## ■法定点検について

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています(消安法第32条の14)。この機器に表示してある点検期間になりましたら、忘れずに点検を受けてください。なお、法定点検後も機器を使用する場合は、こまめに(1～2年)点検を受けることがこの機器を安全にご使用いただくために必要となりますので、ご注意ください。

- この機器の点検期間は右図のように表示されています。
- この機器の設計標準使用期間3年の前6ヶ月、後1年6ヶ月の間が法定点検時期となります。  
点検期間には忘れずに法定点検(有償)をご依頼ください。  
(法定点検時期には、下記要領でお客様に登録いただいた所有者情報に基づき、当社より、はがき等で法定点検通知を送付いたします)

|          |                     |
|----------|---------------------|
| 器具名      | 器具名:PH-E2400HE      |
| 特定製造事業者名 | 特定製造事業者等名 株式会社パロマ   |
| 住所       | 名古屋市瑞穂区松原町6番23号     |
| 製造年月     | □年□月                |
| 設計標準使用期間 | 3年                  |
| 点検期間     | □年□月～□年□月           |
| 問合せ連絡先   | 株式会社パロマ<br>お客さまセンター |
| フリーダイヤル  | 0120-378-880        |
| 登録コード    | 0000-0000-0000-0000 |

※図は表示の一例です。

## ■所有者登録について

特定保守製品の所有者は、この機器の製造事業者に法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第32条の8第1項および第2項)。

下記、「所有者登録の方法」をご覧になり、いずれかの方法で、登録を行ってください。

また、引越し等で所有者登録の内容に変更がありましたら、速やかに登録内容の変更を行ってください。  
(→P.20) 変更登録を行わないと法定点検の通知が届きません。

※ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により、適切な安全対策の元に管理し、法定点検・リコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

### 所有者登録の方法

以下のいずれかの方法で登録を行ってください。

※聞き間違いなどによる誤登録を防ぐため、電話での所有者登録は行っておりません。

### 所有者票(返信はがき)で登録する

- 添付の所有者票に必要事項をご記入の上、投函してください。

### インターネット(パソコン)で登録する

- 下記アドレスにアクセスし、画面の案内に従って登録を行ってください。  
<http://www.paloma.co.jp/touroku/>

### モバイル(携帯電話)で登録する

- 添付の所有者票のQRコードを読み取り、携帯サイトの画面に従って登録を行ってください。  
※ご使用中の携帯電話がQRコードに未対応の方やURLがうまく受信できない方は、所有者票(返信はがき)またはインターネットで登録を行ってください。

### 法定点検通知について

- 法定の所有者登録をいただいた方に、法定点検の通知をいたします。(消安法第32条の12)
- 法定点検に関するお問い合わせは、「法定点検の連絡先について」(→P.20)をご覧ください。

# 長期使用製品安全点検制度に関するお願い

## ■この製品の設計標準使用期間について

この製品は設計標準使用期間<sup>※</sup>を3年と算定しており、適切な点検を行わずにこの期間を超えて使用すると、経年劣化による一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障、火災等に至るおそれがあります。

### ※設計標準使用期間とは

標準的な使用条件(下記の「設計標準使用期間の算定の根拠」参照)の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです(消安法第32条の3)。**無償保証期間とは異なります。**

### 設計標準使用期間の算定の根拠

この製品の設計標準使用期間は、製造年月を始期とし、JGKAS A 201「業務用ガス瞬間湯沸器の標準使用条件及び標準加速モード並びにその試験条件」の「4 標準加速モード」に従って以下の標準使用条件で耐久試験を行い、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

| 標準使用条件    |                 |        |                   |
|-----------|-----------------|--------|-------------------|
| 使用形態      | 多頻度使用           |        | 長時間一定給湯(熱交換器結露)   |
| 使用時間/日    | 10時間            |        | 5時間               |
| 繰返しパターン   | 1分ON/1分OFF      | 300回/日 | 20分ON/5分OFF 12回/日 |
| 出湯温度/給水温度 | 60℃/15℃         |        | 32℃/24℃           |
| 湯量        | 最大流量相当          |        | 全バーナーが最低燃焼の湯量相当   |
| 電源電圧/周波数  | 100V(50Hz/60Hz) |        | 使用日数/年            |
|           |                 |        | 365日              |

## ❗ご注意ください

- 上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などで使用した場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、機器に表示している点検期間よりも早く点検を受けてください。点検のご依頼は下記の「株式会社パロマ お客様センター」へお願いいたします。

## ■法定点検の連絡先について

法定点検に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

株式会社パロマ お客様センター

フリーダイヤル:0120-378-860 受付時間/平日9:00～17:00(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

- 点検費用はお客様にご負担いただくこととなります。点検料金につきましては、上記フリーダイヤルへご確認ください。また、点検の結果、整備・修理が必要となった場合は別途費用が発生します。
- 法定点検は全国の営業所で対応いたします。  
パロマホームページ(<http://www.paloma.co.jp/touroku>)のアドレスからもご確認ください。

## ■部品の保有期間について

この機器の部品の保有期間は下記になります。

| 部 品                      | 保 有 期 間 | 部 品 内 容 (部 品 名)                                                                                      |
|--------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 点 検 に 係 わ る<br>整 備 用 部 品 | 7年      | 点検の結果必要となると見込まれる部品です<br>パッキン・Oリング・点火プラグ・イグナイター・フレームロッド・ハイリミット<br>スイッチ・温度ヒューズ・COセンサ・温度検出サーミスタ・給気フィルター |
| 補 修 用 品<br>性 能 部 品       | 7年      | 機器の機能を維持するために必要となる部品です                                                                               |

## ■日常の点検・お手入れについて

この機器を安全にお使いいただくために、日常の点検・お手入れは必ず行ってください。

日常の点検・お手入れのしかたについては、「点検のポイント・お手入れのしかた」(→P.21～23)をご覧ください。異常と思われる症状が見られる場合は、速やかに「株式会社パロマ お客様センター」までご連絡ください。

# 点検のポイント・お手入れのしかた

## ■点検のポイント(月1回程度)

次の13のポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？  
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわりに燃えやすいものはありますか？  
機器のまわりが雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 排気トップ部は排気フード内に納まっていますか？
- 7 部屋の窓(給気口、排気口、小窓など)が物などでふさがっていませんか？
- 8 排気トップ部および排気筒の破損、外れ、詰まりはありませんか？
- 9 給気フィルターにゴミ、ほこりが詰まっていますか？
- 10 給気フィルターの変形、破損はありませんか？
- 11 給気フィルターが機器に確実に装着されていますか？
- 12 給気フィルターが物などでふさがれていませんか？
- 13 燃焼中、ドレン水がドレン排水口からスムーズに排水していますか？



## ■定期点検のおすすめ(有料)

- 機器を安心してより長くご使用いただくために、法定点検の他に1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。点検はお買い上げの販売店かお近くのパロマへご相談ください。

## ■お手入れのしかた

### 機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。  
変色・変形する場合があります。



**⚠警告** ●フロントカバーを外したり、本体操作部やリモコンを分解したりしない。



分解禁止

### ●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。  
また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
- 本体操作部には水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、風呂リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

- お願い**
- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
  - 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

# 点検のポイント・お手入れのしかた

## ■給気フィルターの掃除(こまめに掃除)

給気フィルターはこまめに掃除してください。給気フィルターに油煙やほこりが詰まると、本体操作部にアラーム番号“051”(風呂リモコンには“05”)が点滅表示し、アラームブザーが鳴ります。アラームブザーの停止は、本体操作部のブザー解除スイッチを押して行ってください。

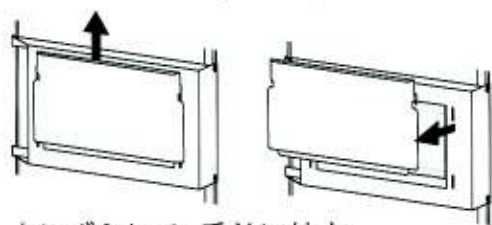
1

運転スイッチを押して運転を「切」にします



2

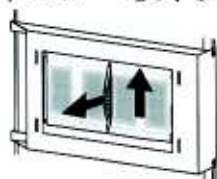
カバーふたを外します



上にずらして、手前に外す。

3

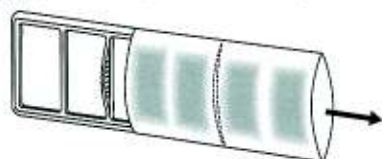
給気フィルターを外します



上にずらして、手前に外す。

4

油取りフィルターを外します



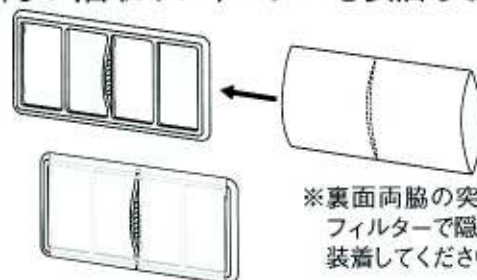
5

ほこりやゴミを掃除機で吸い取るか、水洗いします  
油汚れのひどいときは、台所用中性洗剤で洗ってください



6

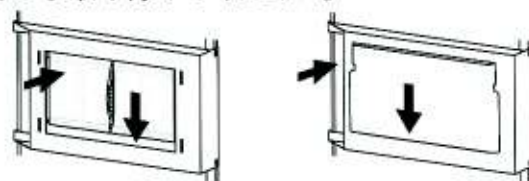
新しい油取りフィルターを装着します



※裏面両脇の突起が油取りフィルターで隠れないように、装着してください。

7

元どおりに取り付けます  
給気フィルターがぬれている場合は、よく乾かしてから取り付けてください。



突起を掛けて、下にずらす。

掃除が終わったら

運転スイッチを「入」にして、再使用してください

給気フィルターがきちんと装着されていないときは、機器を使用できません。

※運転スイッチを「入」にしたとき本体操作部にアラーム番号“051”が点滅します。

運転スイッチを「切」にして、再度装着し直してください。



## ❗ご注意ください

お願い

- 給気フィルターのお手入れの際には、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- ベンジン・シンナー・みがき粉などで拭いたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけないでください。
- 給気フィルターを外したまま使用したり、ぬれたまま取り付けて使用しないでください。故障の原因となります。
- 給気フィルターの掃除が終わった後は、必ず弊社指定の未使用の油取りフィルターを装着してください。一度使ったものや、指定以外のものは使用しないでください。付属の油取りフィルターがなくなった場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
- 給気フィルターの掃除回数は使用場所により異なります。汚れてきたら掃除してください。  
※給気フィルターが変形・破損したときには、お買い上げの販売店でお求めください。

長くお使いいただくために

# 点検のポイント・お手入れのしかた

## ■排気トップ部・油受け皿の掃除(月1回程度)

排気トップ部・油受け皿は定期的に掃除してください。油煙やほこりで汚れたままにしておくと、機器の故障の原因になります。

※月1回程度を目安としますが、頻度は設置状況により異なります。

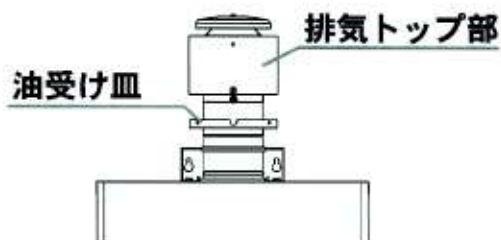
1

運転スイッチを押して運転を「切」にします



2

排気トップ部・油受け皿を掃除します  
ほこりや油がたまっているときは布などで拭き取ってください。



**お願い** ●排気トップ部内部のセンサーは外さないでください。外したりすると、故障の原因となります。

## ■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。

そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に新築などの場合)

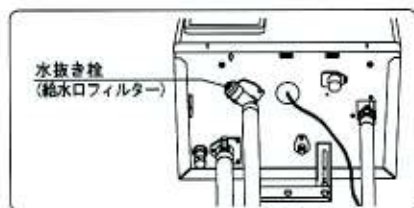
1

給水元栓を閉じる



2

給水接続口にある水抜き栓を外す



3

歯ブラシなどで洗う



4

元どおりに取り付ける

**お願い** ●給水口フィルターを外すと水が出ます。  
水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

## ■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後は、機器が正常に作動するか確認してください。

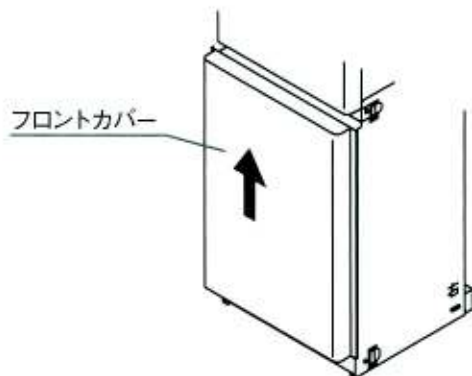
万一、異常な燃焼・臭気・音を感じたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

## 点検のポイント・お手入れのしかた

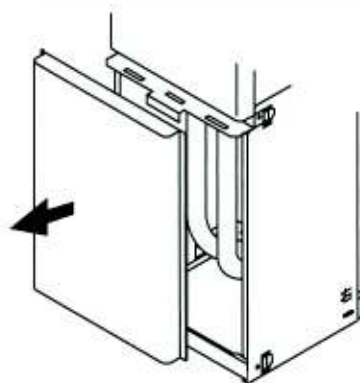
### ■配管カバーのフロントカバーについて

点検・お手入れのため、配管カバーのフロントカバーを脱着する場合は、以下の手順で行ってください。

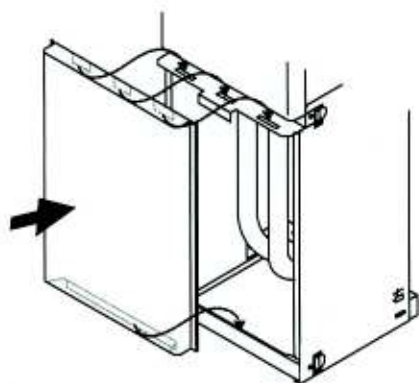
カバーを外す



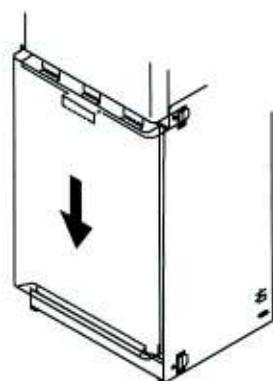
上にずらして、手前に外す。



カバーを取り付ける



上部と下部のツメ位置を確認し、引っ掛けに合わせる。



下にずらして固定する。

お願い

- 配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーを、元のとおりに取り付けてください。
- 配管カバーのフロントカバーを取り付けた際は、しっかり固定されていることを確認してください。

長くお使いいただくために

## 故障かな?と思ったら

故障かなと思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

### こんなとき

### ここを調べてください

リモコンの画面に表示が出ない

電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.8)  
停電していませんか (→P.4)

燃焼ランプが点灯しない  
お湯が出ない  
運転しない

電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.8)  
停電していませんか (→P.4)  
ガス栓が全開になっていますか (→P.8)  
給水元栓が全開になっていますか (→P.8)  
断水していませんか (→P.4)  
給湯栓が十分開いていますか (→P.9)  
給水口フィルターが詰まっていますか (→P.23)  
給気フィルターが汚れていませんか (→P.22)  
凍結していませんか (→P.18)

高温のお湯が出ない

温度調節は適切ですか (→P.10)  
ガス栓が全開になっていますか (→P.8)  
シングルレバー混合栓やサーモスタット混合栓を使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を最高温に設定してください

低温のお湯が出ない

温度調節は適切ですか (→P.10)  
給湯栓が十分開いていますか (→P.9)  
給水口フィルターが詰まっていますか (→P.23)  
給水元栓が全開になっていますか (→P.8)

アラーム番号「901」「941」「991」が点滅し、動作しない

メインダクトの排気ファンが運転していないと不完全燃焼となり自動的に機器を停止します  
メインダクトの排気ファンを運転させてから使用してください (→P.27)

運転中に機器から異常音が聞こえる

点検依頼をしてください

アラーム番号「888」が点滅している

点検時期が訪れると、点検お知らせ機能(タイムスタンプ)がはたらきお知らせします  
お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください (→P.27)

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

# 故障かな?と思ったら

## ■こんなときは故障ではありません

| 現象                          | 点検項目                                                                                          |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 給湯栓を絞りすぎて水になった              | この機器は通水量が約3.0ℓ/分以下になったときには、消火します。                                                             |
| 夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない          | 夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開けて出湯量を多くすれば湯温は安定します。                           |
| 冬期水温が低いとき高温のお湯が出ない          | 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を得ようとすることは、出湯量を少なめにして使用してください。出湯量を多くすると熱いお湯が出ない場合があります。                     |
| 給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない         | 機器から給湯栓までには距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。                                                   |
| 給湯使用中にお湯の量が変わる              | お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したりすると、お湯の量が減る場合があります。                                                       |
| 給湯栓を開けたときお湯の量が変動する          | 湯温を安定させるために、自動的に湯量調整をしています。すぐに湯量は安定します。                                                       |
| お湯が白く濁って見える                 | これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。 |
| 給湯使用中や給湯終了後しばらくの間、コトコトと音がする | お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。                                               |
| 出湯停止後しばらく燃焼ファンの回転音がする       | 再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。                                                              |
| 給湯栓を閉じると、水抜き栓から一瞬水が漏れる      | 水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給水側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために水が出る場合があります。                         |

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは  
お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

長くお使いいただくために

# 故障かな?と思ったら

## ■アラーム表示について

機器に不具合が生じたとき、その原因に応じてアラーム番号の点滅表示とブザー（風呂リモコンはブザーが鳴りません）でお知らせし、自動的に運転を停止します。

ブザーは本体操作部の **ブザー解除** を押して解除します。（アラーム番号の点滅表示は解除されません）

アラーム番号が表示点滅したときは不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店にお近くのパロマへご連絡ください。

| アラーム番号 | 原因             | 処置                                                                                                                                       | アラーム番号 | 原因            | 処置                                                                                                                                                                         |
|--------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 111    | 点火不良           | ガス栓が全開であることを確認後（リセット操作）<br><br>それでもアラーム番号がでるときは、修理を依頼する | 031    | 未対応ガス種選択      | 修理を依頼する                                                                                                                                                                    |
| 121    | 失火             |                                                                                                                                          | 051    | 給気フィルター外れ     | フィルターを清掃後、正しく装着（→P.22）                                                                                                                                                     |
| 311    | 出湯温サーミスタ断線・短絡  |                                                                                                                                          | 291    | 給気フィルター詰まり    | 修理を依頼する                                                                                                                                                                    |
| 321    | 入水温サーミスタ断線・短絡  |                                                                                                                                          | 381    | 中和器詰まり        | 修理を依頼する                                                                                                                                                                    |
| 331    | 混合温サーミスタ断線・短絡  |                                                                                                                                          | 391    | COセンサー異常      | 機器の燃焼累計時間が一定時間を超えました。しばらくは使用できます（アラームは消えませんが、COセンサーの寿命のため、早めに修理を依頼する）                                                                                                      |
| 341    | 排気温度サーミスタ断線・短絡 |                                                                                                                                          | 991    | フレームロッド断線     | 修理を依頼する                                                                                                                                                                    |
| 381    | COセンサー故障       |                                                                                                                                          | 888    | 機器点検          | 点検を依頼する（→P.19）                                                                                                                                                             |
| 441    | 流量センサーOFF故障    |                                                                                                                                          | 921    | 中和器異常         | 修理を依頼する                                                                                                                                                                    |
| 510    | 元ガス電磁弁故障       |                                                                                                                                          | 931    | 中和器寿命         |                                                                                                                                                                            |
| 511    | 給湯ガス電磁弁故障      |                                                                                                                                          | 131    | CO警報器         | メインダクトの排気ファンが運転していることを確認し、さらに窓やドアを開け部屋の換気を行った後（リセット操作）<br><br>それでもアラーム番号がでるときは、修理を依頼する |
| 611    | 燃焼ファン回転異常      |                                                                                                                                          | 681    | ダクトファン故障      |                                                                                                                                                                            |
| 651    | 水量制御弁故障        |                                                                                                                                          | 901    | 自室汚染対策        |                                                                                                                                                                            |
| 661    | バイパス弁故障        |                                                                                                                                          | 941    | 排気温度サーミスタ異常検出 |                                                                                                                                                                            |
| 701    | 電装基板異常         |                                                                                                                                          | 991    | 室内CO異常        | それでもアラーム番号がでるときは、修理を依頼する                                                                                                                                                   |
| 711    | ガス電磁弁駆動回路故障    |                                                                                                                                          |        | 自己診断燃焼異常      |                                                                                                                                                                            |
| 721    | ブリボスト異常        |                                                                                                                                          |        |               |                                                                                                                                                                            |
| 741    | 本体操作部通信異常      |                                                                                                                                          |        |               |                                                                                                                                                                            |
| 751    | 浴室・サブリモコン通信異常  |                                                                                                                                          |        |               |                                                                                                                                                                            |
| 761    | マルチバーコン間通信異常   |                                                                                                                                          |        |               |                                                                                                                                                                            |

### 中和器交換警告目安

連続最大出力時 24号 3,900時間  
16号 5,200時間

入水温度や使用条件によって異なります。  
中和器の交換は保証期間内であっても有償となります。

**リセット操作**  を一度「切」にし、5秒以上経過してから  を「入」にする。

### 【本体操作部】

アラーム番号の点滅表示とブザーが鳴ります。

ブザーは **ブザー解除** を押して解除します。

※簡単2台連結の場合、アラームの表示が異なります。■簡単2台連結のアラーム表示について（→P.14）をご覧ください。



### 【風呂リモコン】

簡易表示のため、アラーム番号の上位2桁を点滅表示します。



## ❗ご注意ください

- アラーム番号「921」「931」が表示されたときは、中和器の交換が必要なため、修理を依頼してください。

アラーム番号「921」では機器はしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅したままです。点滅中はリモコンの給湯温度が表示されませんので、湯温を確かめてから使用してください。

アラーム番号「931」では機器の使用はできません。

# 仕様一覧

〔仕様表〕

| 項目              | 目次           | 内容                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 器具名             |              | PH-E1600HE PH-E2400HE                                                                                                                                                                                              |
| 型番              |              | PH-E1600HE PH-E2400HE                                                                                                                                                                                              |
| 外形寸法(mm)/質量(kg) |              | 幅370×奥行260×高さ572/29(満水時30)                                                                                                                                                                                         |
| 種類              | 給湯方式         | 先止め式                                                                                                                                                                                                               |
| 設置方式            |              | 屋内設置壁掛形[ダクト接続形(排気フード対応)]                                                                                                                                                                                           |
| 点火方式            |              | AC100V連続放電式(ダイレクト着火)                                                                                                                                                                                               |
| 使用水圧            |              | 100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm <sup>2</sup> )                                                                                                                                                                            |
| 最低作動水圧          |              | 10kPa(0.1kgf/cm <sup>2</sup> )                                                                                                                                                                                     |
| ガス              |              | 15A(R1/2)オネジ                                                                                                                                                                                                       |
| 接続              | 給水           | 15A(R1/2)オネジ                                                                                                                                                                                                       |
|                 | 給湯           | 20A(R3/4)オネジ                                                                                                                                                                                                       |
|                 | 15A(R1/2)オネジ | 20A(R3/4)オネジ                                                                                                                                                                                                       |
|                 | ドレン排出口       | 15A(R1/2)オネジ                                                                                                                                                                                                       |
| 電気関係            | 電源           | AC100V(50/60Hz)                                                                                                                                                                                                    |
|                 | リモコン側        | DC24V以下                                                                                                                                                                                                            |
|                 | 待機時          | 3.7W(3.3W:COセンサー分を除く)                                                                                                                                                                                              |
|                 | 消費電力         | 48W 65W                                                                                                                                                                                                            |
|                 | 定格           | 123W                                                                                                                                                                                                               |
|                 | 凍結予防時        |                                                                                                                                                                                                                    |
|                 | 電源コード        | VCT(2心)機外長2.2m                                                                                                                                                                                                     |
| 安全装置            |              | ファン回転検出装置(燃焼ファン) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ)<br>漏電安全装置(漏電スイッチ) 空だき防止装置(水量センサー)<br>凍結予防装置(凍結予防ヒータ) 空だき安全装置(バイメタル式)<br>排気温度異常検出装置(サーミスタ) 不完全燃焼防止装置(COセンサー)<br>立消え安全装置(フレイムロッド方式) 過熱防止装置(温度ヒューズ)<br>過圧防止安全装置(スプリング式) 中和器詰まり検出装置 |

〔能力表〕

| 器具名        | 使用ガス<br>使用ガスグループ | 1時間あたりのガス消費量<br>kW{kcal/h} | 出湯能力(最大時)(ℓ/分) |          | ガス接続      |
|------------|------------------|----------------------------|----------------|----------|-----------|
|            |                  |                            | 水温+25℃上昇       | 水温+40℃上昇 |           |
| PH-E1600HE | 都市ガス             | 13A 29.4kW{25,300kcal/h}   | 16.0           | 10.0     | 15A(R1/2) |
|            |                  | 12A 27.4kW{23,600kcal/h}   | 14.9           | 9.3      |           |
|            | L P ガス           | 29.4kW{2.10kg/h}           | 16.0           | 10.0     |           |

| 器具名        | 使用ガス<br>使用ガスグループ | 1時間あたりのガス消費量<br>kW{kcal/h} | 出湯能力(最大時)(ℓ/分) |          | ガス接続      |
|------------|------------------|----------------------------|----------------|----------|-----------|
|            |                  |                            | 水温+25℃上昇       | 水温+40℃上昇 |           |
| PH-E2400HE | 都市ガス             | 13A 44.0kW{37,800kcal/h}   | 24.0           | 15.0     | 15A(R1/2) |
|            |                  | 12A 41.0kW{35,300kcal/h}   | 22.4           | 14.0     |           |
|            | L P ガス           | 44.0kW{3.14kg/h}           | 24.0           | 15.0     |           |

◎ガス:JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa(2.0kgf/cm<sup>2</sup>)のときで、温度を高め、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために

# アフターサービスについて

## 点検・修理を依頼されるとき

- 「故障かな?と思ったら」(→P.25～27)を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 現象(できるだけ詳しく)
3. 型番(銘板表示のもの)
4. ご購入日・ガス種
5. 道順

★なお、修理のご依頼は、【電話】0120-193-860 でも24時間受付いたしますので、ご利用ください。

| ご相談窓口          | 住所                                              | TEL          | FAX          |
|----------------|-------------------------------------------------|--------------|--------------|
| 北海道サービスコールセンター | 〒001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1-1                      | 011-726-2822 | 011-736-7374 |
| 東北サービスコールセンター  | 〒983-0041 仙台市宮城野区南目館20-10                       | 022-239-1848 | 022-238-0838 |
| 関東サービスコールセンター  | 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-1-6 藤枝ビル6階                 | 03-3986-0860 | 03-3986-0895 |
| 中日本サービスコールセンター | 〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6-23                        | 052-824-5188 | 052-824-5670 |
| 近畿サービスコールセンター  | 〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20 パロマワザビル2階              | 06-6534-6751 | 06-6534-6755 |
| 中四国サービスコールセンター | 〒732-0804 広島市南区西蟹屋3丁目8-12                       | 082-262-8341 | 082-263-2400 |
| 九州サービスコールセンター  | 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-13                      | 092-472-0924 | 092-471-8400 |
| 受付時間           | 平日 9:00～18:30<br>土曜日・日曜日・祝日 9:00～17:00 (修理受付のみ) |              |              |

\*住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承ください。

## 保証について

- この潜熱回収型ガス給湯器には保証書が付いています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後7年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

## 転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

## 長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は水抜き操作をしてください。(→P.16)

## アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店かお近くのパロマへお問い合わせください。

|           |                              |                  |
|-----------|------------------------------|------------------|
| パロマお客様相談室 | 〒467-8585 愛知県名古屋市瑞穂区桃園町6番23号 | TEL 052-824-5145 |
|-----------|------------------------------|------------------|



# 保証書

|                      |     |            |            |
|----------------------|-----|------------|------------|
| 潜熱回収型ガス給湯器(排気フード対応型) | 器具名 | PH-E1600HE | PH-E2400HE |
|----------------------|-----|------------|------------|

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置・使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

## 《無料修理規定》

- 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置・使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。

5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- (イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
- (ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
- (ニ) 特殊な用途（例えば、車載、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
- (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- (ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
- (ト) 本書の提示がない場合

6. 本書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

|     |     |   |      |       |   |   |       |
|-----|-----|---|------|-------|---|---|-------|
| お客様 | お名前 | 様 | 保証期間 | お買い上げ | 年 | 月 | 日から1年 |
|     | ご住所 | 〒 | 販売店名 | 店名    |   |   |       |
|     | お電話 |   |      | 住所    |   |   |       |
|     |     |   |      | 電話番号  |   |   |       |

株式会社 **パロマ**

〒467-8585 名古屋市中区瑞穂区桃園町6番23号  
TEL 052(824)5145



## 修理記録

| 年 月 日 | 修理内容 | サービス員 ⑥ |
|-------|------|---------|
|       |      |         |
|       |      |         |
|       |      |         |
|       |      |         |
|       |      |         |
|       |      |         |

\*この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。

\*保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。